

ごみのゆくえがわかる



クルリ

リサイクル通信

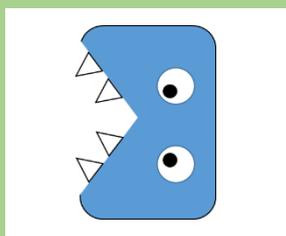
～ペットボトル編～

日頃よりごみの分別にご協力いただきありがとうございます。この「リサイクル通信」では皆様から排出されるごみが、どのように処理されて、どのようなものに生まれ変わるのかをお伝えしていきます。

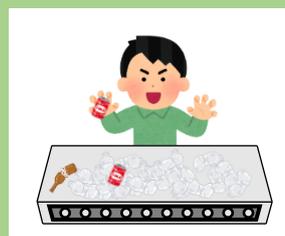
収集されたペットボトルはどこに？



①プラスチック資源化センターに搬入。



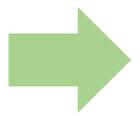
②破袋機で袋を破く。



③手選別で不適物を取り除く。



④圧縮梱包機でペットボトルを圧縮。



⑤圧縮した「ベール」をトラックに積む。



⑥トラックで再資源化工場に搬出。



③の人の手で選別することで、より細かく不適物を取り除くことができ、リサイクル品の品質が良くなるよ。
法律に基づき、「容器包装リサイクル協会」が指定する再資源化工場に搬出し、次ページのような製品に生まれ変わっているよ。

再資源化工場ではなにに生まれ変わる？

プラスチック資源化センターで作られたペットボトルのベールは、民間の再資源化工場に搬入され、選別、粉碎、洗浄、乾燥を経て「フレーク」になります。また、「フレーク」を一度溶かして小さな粒状にしたものを「ペレット」と呼びます。

これらは、新たなペットボトルや衣料等を作るための原料として使用されます。



フレーク



ペットボトル等



ペレット



衣料等

この他にも、フレークは卵パック、粘着テープ等に生まれかわり、ペレットは繊維製品の原料に使用されます。

分別をせずにペットボトルを焼却してしまうと、二酸化炭素が発生し、地球の温暖化が加速してしまいますので、ご協力をおねがいします。



ペットボトルはセブン-イレブンの市内店舗のうち54店舗で自動回収機を設置されているので、ご利用ください。詳しい情報は市ホームページ(右の二次元コード)をご覧ください。



発行:八王子市資源循環部ごみ減量対策課
TEL:042-620-7256 FAX:042-626-4506
Email:b480100@city.hachioji.tokyo.jp(「◎」を「@」へ変換してご利用下さい)